

# NEWS LETTER



公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク  
Japan Organ Transplant Network

Vol.23  
2019

# NEWS LETTER

公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク  
Japan Organ Transplant Network

Vol.23  
2019

## 目次

1. 臓器提供・臓器移植の現状
  - 臓器提供件数の推移と取り組み ..... 1
  - 臓器移植件数の推移と移植希望登録者統計 ..... 2
  - 小児脳死下臓器提供と移植の現状 ..... 3
2. 移植者の現状
  - 心臓・心肺同時移植 ..... 4
  - 肺・心肺同時移植 ..... 4
  - 肝臓・肝腎同時移植 ..... 4
  - 脾臓・脾腎同時移植 ..... 5
  - 小腸移植 ..... 5
  - 腎臓移植 ..... 5
3. レシピエントの個人情報の取り扱いと利用についてご了解いただきたいこと ..... 6
4. 財政状況の報告(2018年度) ..... 6
5. 日本臓器移植ネットワークの取り組み
  - 医療機関への院内体制整備支援 ..... 7
  - 臓器提供されたご家族への支援 ..... 8
6. 普及啓発の概要 ..... 9

# 1

## 臓器提供・臓器移植の現状

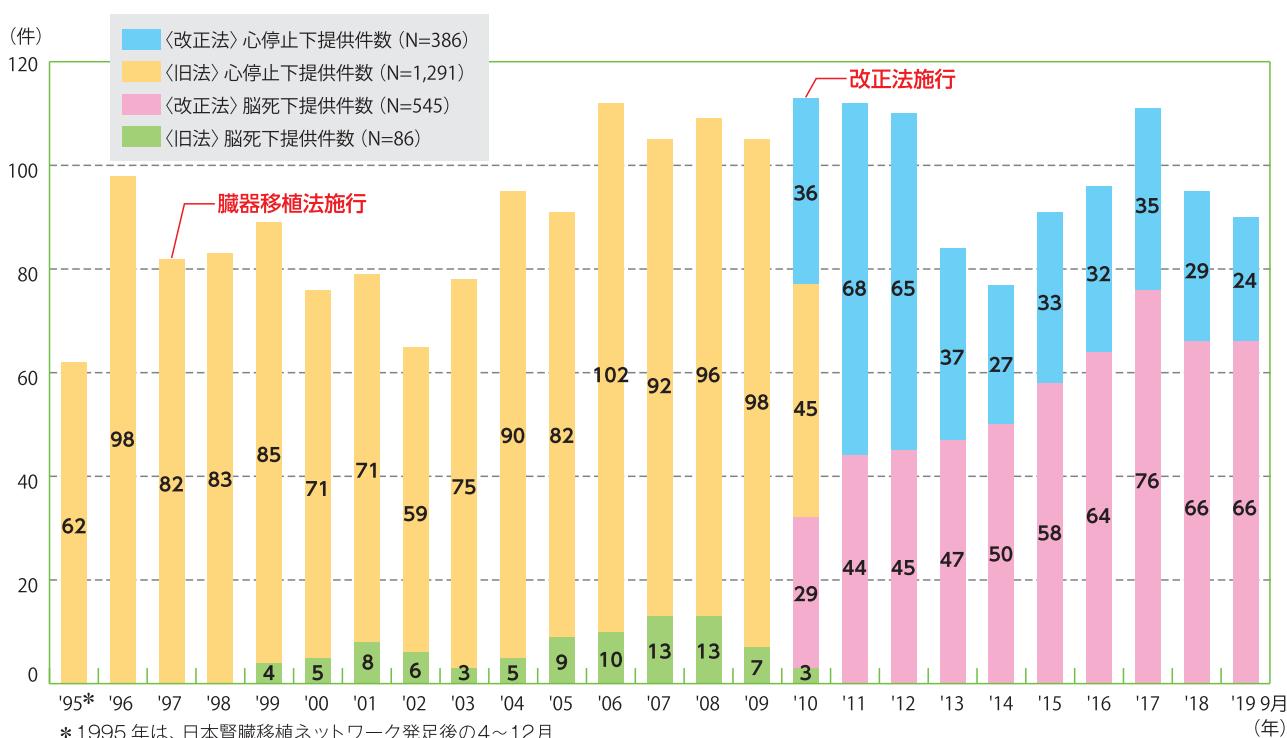
### 臓器提供件数の推移と取り組み

1995年4月から2019年9月末までに、脳死下臓器提供件数は631件であり、心停止下臓器提供件数は1,677件でした(図1)。特に2010年7月の改正臓器移植法施行を機に、本人の書面による意思表示がない場合でも家族の承諾で脳死下臓器提供が可能になったため、脳死下臓器提供件数は大幅に増加し2018年は66件、2019年は9月末現在で66件となっています。また、心停止下臓器提供を含めた全体の臓器提供件数は2018年95件、2019年9月末現在で90件でした。

改正臓器移植法施行後の脳死下臓器提供545件(2010年7月17日~2019年9月30日)のうち、429件(78.7%)は本人の書面による臓器提供の意思表示がない事例であり、家族の承諾により脳死下臓器提供する家族が増えています。一方で、本人の意思表示があった115件(21.1%)は、意思表示カード、健康保険証意思表示欄、運転免許証意思表示欄などへの記載がありましたが、近年は健康保険証意思表示欄、運転免許証意思表示欄への記載が増えており、複数に意思表示している事例も21件(3.9%)ありました。

ご家族の承諾による提供の事例が増加している要因として、回復困難な患者のご家族に対し臓器提供の情報提供(臓器提供に関する本人の意思がなかったかどうか、また家族が臓器提供について移植コーディネーターの説明を聞く希望があるかどうかを尋ねること)の割合や、臓器提供が可能な医療機関において院内の体制整備を積極的に行う施設が増えていることが影響していると考えられます。(詳しくはP7をご覧ください)

図1 臓器提供件数の年次推移



なお、本人の意思が不明の場合には、拒否の意思表示がないことを確認するため家族から本人の戸名や日頃の様子を伺い、健康保険証や運転免許証の意思表示やインターネットによる臓器提供意思登録について慎重に確認します。家族が承諾した理由は様々ですが、「本人の意思を尊重したい」、「人の役に立ちたい、社会貢献をしたい」、「どこかで生きてほしい」などの思いがあります。家族が臓器提供を考えるとときに、本人の意思の存在が頼りになり支えになることもあります。提供後の家族の支援として『ドナーのご家族のための集い』や『みどりのカフェ』を開催しています。（詳しくはP8をご覧ください）

脳死臓器移植の分析：<https://www.jotnw.or.jp/data/brain-death-data.php>

## 臓器移植件数の推移と移植希望登録者統計

2019年9月末現在、移植を希望して登録している方々は、心臓777名、肺374名、肝臓326名、膵臓214名、腎臓12,357名、小腸6名、合計13,853名です（図2）。

一方で、1995年4月から2019年9月末までに臓器移植を受けられた方々は、心臓移植484名、肺移植498名、心肺同時移植3名、肝臓移植541名、肝腎同時移植24名、膵臓移植66名、膵腎同時移植330名、

図2 移植希望登録者統計（2019年9月30日現在）

	希望登録者数	
	希望登録者数	内訳
心臓	777	内、心肺同時 4
肺	374	内、心肺同時 4
肝臓	326	内、肝腎同時 27
		内、肝小腸同時 0
腎臓	12,357	内、肝腎同時 27
		内、膵腎同時 170
膵臓	214	内、膵腎同時 170
小腸	6	内、肝小腸同時 0

※ 各臓器の移植希望者数には、多臓器同時移植希望者を含む

図3 臓器移植件数（1995年4月～2019年9月、移植5,837件）

	'95*	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19 -9月	合計
心臓	-	-	0	0	3	3	6	5	0	5	7	10	10	11	6	23	31	28	37	37	44	51	56	55	56	484
心肺同時	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3
肺	-	-	-	0	0	3	6	4	2	4	5	6	9	14	9	25	37	33	40	41	45	49	56	58	52	498
肝臓	-	-	0	0	2	6	6	7	2	3	4	5	10	13	7	30	41	40	38	43	55	54	62	57	56	541
肝腎同時	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	3	7	3	5	24
膵臓	-	-	-	-	0	0	0	1	1	0	1	1	4	4	0	2	6	9	9	5	4	5	8	3	3	66
膵腎同時	-	-	-	-	0	1	6	2	1	5	5	8	8	6	7	23	29	18	24	24	32	33	35	31	32	330
腎臓	118	183	159	149	158	145	145	122	135	168	155	189	179	204	182	186	182	174	130	101	133	141	156	148	131	3,873
小腸	-	-	-	-	-	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1	4	3	0	1	0	0	1	0	3	1	18
合計	118	183	159	149	163	158	170	141	141	185	177	219	222	253	213	293	329	303	281	253	315	338	380	358	336	5,837

\* 1995年は、日本腎臓移植ネットワーク発足後の4～12月

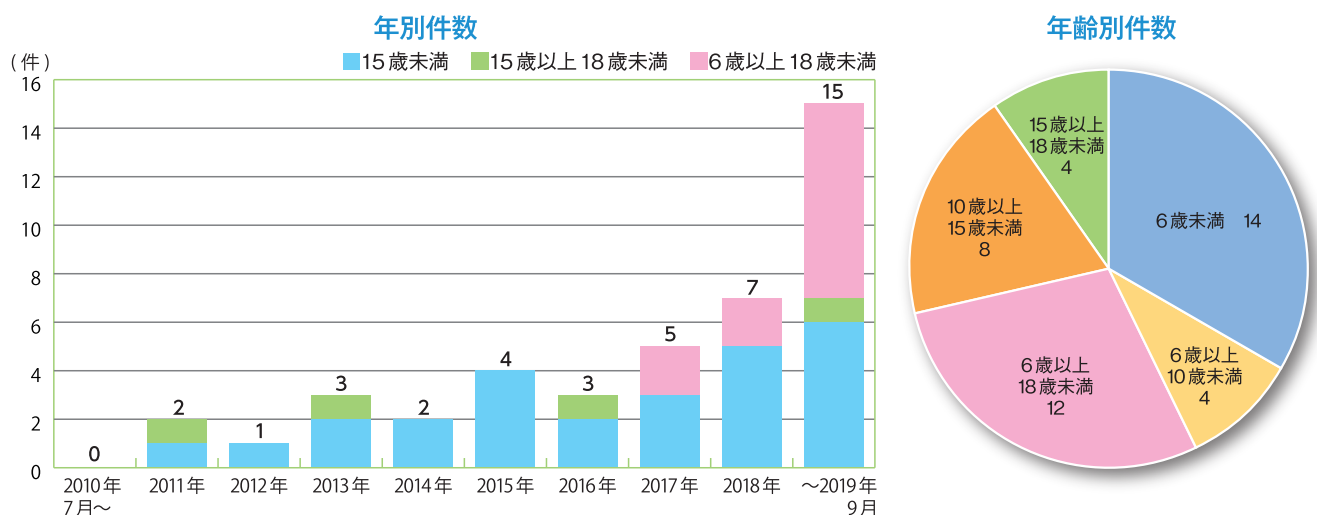
腎臓移植3,873名、小腸移植18名の計5,837名となっています(図3)。特に2016年以降は、心臓移植、肺移植、肝臓移植で50名を超え、2018年は合計358名の方々が移植を受けるに至りました。2018年4月より小腸移植も他の臓器移植と同様、健康保険の適用が認められました。

## 小児脳死下臓器提供と移植の現状

改正臓器移植法施行に伴い小児の脳死下臓器提供が可能となりましたが、特に家族の心情に配慮しつつ、虐待の除外や厳密な法的脳死判定の実など慎重な対応が求められています。そのような状況において、2019年9月末までに、18歳未満からの脳死下臓器提供が42件あり、合計188名の方々が移植を受けることができ、多くの小児登録者が移植を受けるに至っています(図4)。

ご提供された方々の年齢別では、6歳未満14件、6歳以上10歳未満4件、6歳以上18歳未満12件、10歳以上15歳未満8件、15歳以上18歳未満4件でした。また、心臓移植は、これまでも18歳未満の提供者からは18歳未満の登録者が優先されるレシピエント選択基準となっておりますが、腎臓移植も2018年3月20日より20歳未満の提供者から20歳未満の登録者を優先され、肝臓移植も2018年11月1日より18歳未満の提供者から18歳未満の登録者が優先される選択基準に改正され、小児登録者が移植を受けられるようになりました。

図4 18歳未満 脳死下臓器提供 (2010年7月～2019年9月、提供42件)



	心臓	肺	肝臓	腎臓	膵臓※	小腸	合計
移植件数	36	33	41	46	28	4	188
内、18歳未満	34	14	28	24	0	3	103

※ 膵腎同時移植を含む

## 2 移植者の現状

※移植までの平均待機期間については、これまでに移植を受けられた方の待機期間の平均を算出した日数となります。移植を受ける方は、レシピエント選択基準に沿って選ばれます。実際の待機期間については、提供される方との適合度(血液型、体格、組織適合性等)や移植希望者の医学的緊急度、待機期間等により臓器ごとに異なります。



### 【心臓・心肺同時移植】

#### 【心臓・心肺同時移植】生存・生着率

N=431

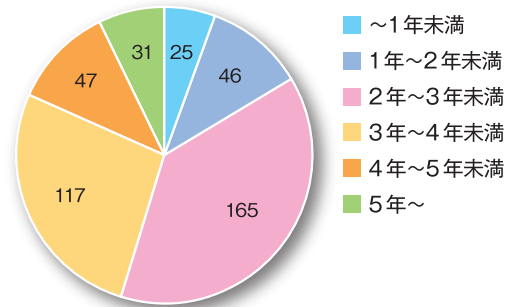
内、心肺同時移植N=3(1997.10~2018.12)

	1年	3年	5年	7年	10年
生存率	96.7%	94.6%	92.5%	91.8%	90.9%
生着率	96.7%	94.6%	92.5%	91.1%	90.9%

心臓移植・心肺同時移植者(1997年10月~2018年12月、431件)の平均待機期間(登録日から移植日までの期間)は、1,137.3日(約3年1ヵ月)でした。また、移植後5年後の生存率及び生着率はそれぞれ92.5%でした。

#### 心臓・心肺同時移植を受けられた方の待機期間

N=431(1997.10~2018.12)



移植までの平均待機期間: 1,137.3日



### 【肺・心肺同時移植】

#### 【肺・心肺同時移植】生存・生着率

N=449

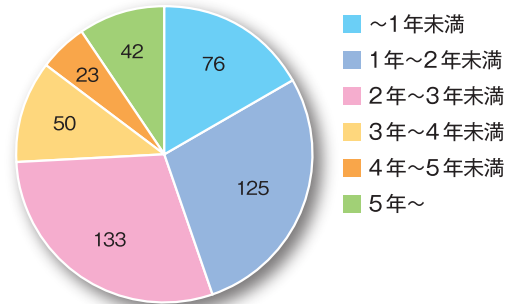
内、心肺同時移植N=3(1997.10~2018.12)

	1年	3年	5年	7年	10年
生存率	89.4%	80.9%	73.4%	67.0%	58.5%
生着率	89.2%	80.5%	72.2%	65.3%	56.8%

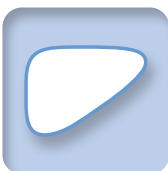
肺移植・心肺同時移植者(1997年10月~2018年12月、449件)の平均待機期間は、901.5日(約2年5ヵ月)でした。また、移植後5年後の生存率は、73.4%、生着率は72.2%でした。

#### 肺・心肺同時移植を受けられた方の待機期間

N=449(1997.10~2018.12)



移植までの平均待機期間: 901.5日



### 【肝臓・肝腎同時移植】

#### 【肝臓・肝腎同時移植】生存・生着率

N=504

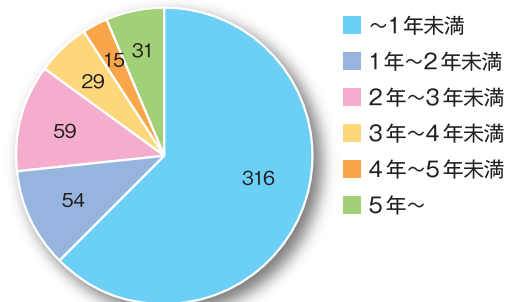
内、肝腎同時移植N=19(1997.10~2018.12)

	1年	3年	5年	7年	10年
生存率	89.1%	85.8%	82.0%	78.2%	75.7%
生着率	88.4%	85.0%	81.3%	77.5%	75.0%

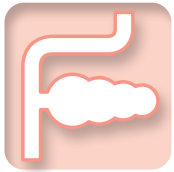
肝臓移植・肝腎同時移植者(1997年10月~2018年12月、504件)の平均待機期間は、488.5日(約1年4ヵ月)でした。また、移植後5年後の生存率は、82.0%、生着率は81.3%でした。

#### 肝臓・肝腎同時移植を受けられた方の待機期間

N=504(1997.10~2018.12)



移植までの平均待機期間: 488.5日



## 【膵臓・膵腎同時移植】

### 【膵臓・膵腎同時移植】生存・生着率

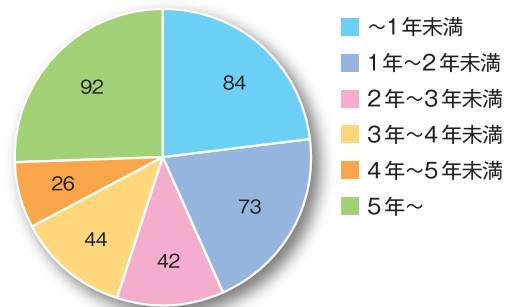
N=361  
内、膵腎同時移植N=298(1997.10～2018.12)

	1年	3年	5年	7年	10年
生存率	95.8%	95.4%	94.9%	90.5%	86.6%
生着率	84.6%	79.2%	76.0%	71.2%	66.8%

膵臓移植・膵腎同時移植者(1997年10月～2018年12月、361件)の平均待機期間は、1,271.9日(約3年6ヶ月)でした。また、移植後5年後の生存率は、94.9%、生着率は76.0%でした。

### 膵臓・膵腎同時移植を受けられた方の待機期間

N=361(1997.10～2018.12)



移植までの平均待機期間：1,271.9日



## 【小腸移植】

### 【小腸移植】生存・生着率

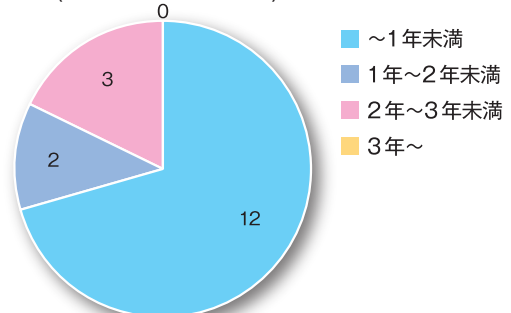
N=17(1997.10～2018.12)

	1年	3年	5年	7年	10年
生存率	87.8%	73.2%	73.2%	64.1%	53.4%
生着率	87.8%	73.2%	65.1%	56.9%	35.6%

小腸移植者(1997年10月～2018年12月、17件)の平均待機期間は、362.4日(約1年)でした。また、移植後5年後の生存率は、73.2%、生着率は65.1%でした。

### 小腸移植を受けられた方の待機期間

N=17(1997.10～2018.12)



移植までの平均待機期間：362.4日



## 【腎臓移植】

### 【腎臓移植】生存・生着率

N=4,059

内、肝腎同時移植N=19、膵腎同時移植N=298(1995.4～2018.12)

	1年	3年	5年	7年	10年
生存率	96.6%	93.8%	91.1%	88.0%	83.5%
生着率	89.6%	83.8%	78.1%	72.1%	62.9%

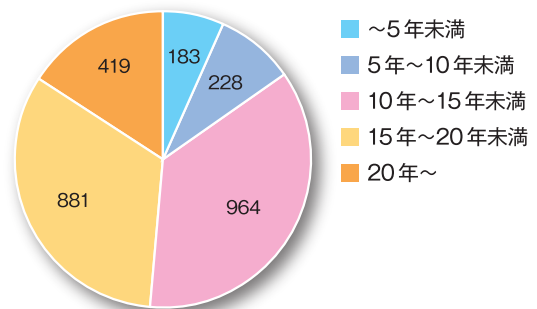
腎臓移植者(レシピエント選択基準改正後2002年1月10日～2018年12月、膵腎同時移植者・肝腎同時移植者を除く2,675件)の平均待機期間は、5,387.7日(約14年9ヶ月)でした。また、移植後5年後の生存率は、91.1%、生着率は78.1%、移植時の平均年齢48.8歳でした。

2018年は148件の腎臓移植が行われ、移植時の平均年齢53.3歳(最年少3歳、最年長74歳)、16歳未満の小児待機者への移植は10件、16歳以上20歳未満への移植は8件でした。

### 腎臓移植を受けられた方の待機期間

(膵腎同時・肝腎同時移植を除く)

N=2,675(2002.1.10～2018.12)



移植までの平均待機期間：5,387.7日

3

# レシピエントの個人情報の取り扱いと利用についてご了解いただきたいこと

日本臓器移植ネットワークで扱う個人情報を含む記録は、各種法令や倫理指針に基づいた社団規程を守った上で、個人情報保護方針に従い下記の通り利用されます。

現在登録されているデータ内容を含め、移植を受けた後の臓器機能データ、薬剤の使用状況、合併症、社会復帰状況、転帰などについても、移植担当医にデータの提供をお願いしております。

臓器移植希望の登録申請をされた場合には、これらのデータの利用及びデータ提供に同意したものとしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

[利用目的]

- ・臓器移植のあっせん業務に利用します。
- ・あっせん業務の質の向上を目的として行う研修等に利用します。
- ・あっせん業務の維持・改善などの経営分析のための基礎資料として利用します。
- ・移植医療の質の向上を目的として行う調査・研究等として利用します。

[第三者への提供]

- ・あっせん業務を遂行するために、臓器提供施設、臓器移植施設、検査施設や外部の医師等へ登録情報を提供します。
- ・移植医療の質の向上を目的として行う調査・研究等のために個人を特定できないよう加工したデータ(匿名加工情報)を、大学その他の研究機関、学会等に提供することがあります。

ご相談窓口

公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク

〒108-0022 東京都港区海岸3-26-1 パーク芝浦12階

TEL: 03-5446-8800 FAX: 03-5446-8818

受付時間 月～金曜日 9:00～17:30(土日・祝日・年末年始を除く)

[公益社団法人日本臓器移植ネットワーク 個人情報保護方針]

当社は、個人情報保護の重要性を認識し、「臓器の移植に関する法律」等関係法令に則った臓器のあっせんを目的とし、これまで以上に細心の注意を払い、下記の取り組みを実施いたします。

当社は、厚生労働大臣より業として行うあっせんの許可を受けており、厚生労働省及び国会等への報告義務があります。また、その社会的責務として、業務の維持・改善のための基礎資料作成、移植医療の質の向上を目的とした教育・研修・研究等を行っており、収集した個人情報をこれらの目的に用いることがありますが、個人情報の保護には厳重に注意を払います。

1. 個人情報について、その管理責任者を設置し、取扱いを定めて、適正な保護を行います。
2. 当社の業務を行う上で必要な個人情報は、その収集と利用の目的、管理方法と相談窓口を明確にして、適切な手段で収集し管理いたします。
3. 個人情報は、上記の利用目的の達成に必要な範囲で利用いたします。なお、目的以外の利用を行う場合は、法律に基づく命令及び関係法令で定める除外項目を除き、本人の同意を得るものといたします。

4. 取得した個人情報は、法令に基づく命令及び関係法令で定める除外項目を除き、あらかじめ本人の同意を得ることなく第三者に提供することはありません。
5. 個人情報への不正なアクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えいなどのリスクに対しては、適切な安全対策を講じます。万一の問題発生時は速やかな是正対策を講じます。
6. 個人情報を取り扱う業務を外部の業者に委託する場合、個人情報を収集するときの承諾に基づく利用、提供、安全管理を守るように、委託先に対する適切な契約や指導・管理を行います。
7. 個人情報の開示、訂正、提供範囲の変更や削除を本人から依頼された場合には、合理的な範囲で速やかに対処いたします。
8. 当社が保有する個人情報に関して法令、規制を遵守するとともに、適正な適用が実施されるよう管理と必要な是正を行い、職員の教育・研修を徹底した上で、個人情報保護の取り組みを継続的に見直し、改善していきます。
9. 当社において、学術研究及び制度改善等の用に供する目的として、症例データ等の個人情報を大学その他の研究機関、学会等の第三者に提供することがあります。その場合、「匿名加工情報保護方針」に基づき個人情報を匿名化しますので個人が特定されることはありません。

(平成29年12月改定)

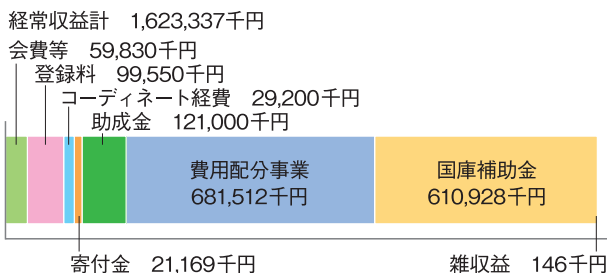
4

# 財政状況の報告(2018年度)

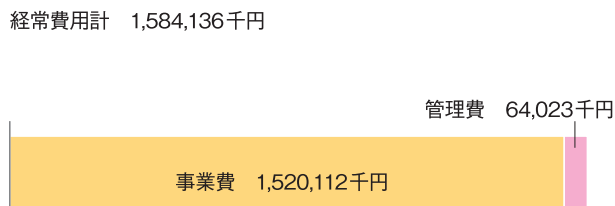
2018年度の経常収益計は、1,623,337千円でした。その内訳は、会費等収益59,830千円、登録料収益99,550千円、移植を受けられた方から受領するコーディネート経費収益29,200千円、寄付金収益21,169千円、助成金収益121,000千円、費用配分事業収益681,512千円、国庫補助金収益610,928千円、雑収益146千円でした。

一方、経常費用計は、1,584,136千円でした。その内訳は、事業費1,520,112千円、管理費64,023千円でした。

2018年度 経常収益内訳



2018年度 経常費用内訳





## 5 日本臓器移植ネットワークの取り組み

### 医療機関への院内体制整備支援

医療機関に入院中の方のご家族が臓器提供を希望された際、医師、看護師、検査技師、事務担当者等、数多くの病院職員が一体となって対応にあたります。さらに、病院内の必要な設備や物品をあらかじめ用意するなど、専門的対応も必要となります。

どのような状況においても、ご本人およびご家族の意思がかなえられるよう、日本臓器移植ネットワークでは医療機関へ院内体制整備の支援を行っています。具体的には、院内各部門間の連携、院内コーディネーターの設置、院内マニュアルの作成、実際の臓器提供を想定したシミュレーション、院内研修会の実施などへの助成や活動支援を行っています。

また、医師など医療者が、回復困難な患者のご家族に対し臓器提供に関する情報提供（臓器提供に関する本人の意思がなかったかどうか、またご家族が臓器提供について移植コーディネーターの説明を聞く希望があるかどうか尋ねること）を行う際、ご家族の心情に配慮した対応が行えるよう、医師、看護師、検査技師、ソーシャルワーカーなどを対象とし、実際の場面を想定した形での模擬体験研修なども実施しています。

日本臓器移植ネットワークでは、医療機関や関連団体と協働し、全国でさまざまな普及啓発活動を展開するとともに、4つの権利（提供する、提供しない、移植する、移植しない）がどのような場合においても最大限尊重される社会の実現を目指し、多角的、段階的に取り組んでいます。



〈セミナー・シミュレーション：院内研修会の様子〉



## 臓器提供されたご家族への支援

日本臓器移植ネットワークでは、臓器提供を経験されたご家族の方々が集い、故人を偲び、想いを語り合う場として、「ドナーのご家族のための集い」を毎年秋頃に開催しています。

集いでは、参加者全員で黙とうを捧げた後、ドナーの写真を上映し在りし日のお姿を偲び、その後、ご家族同士が円卓を囲んで互いの経験やお気持ちを語り合い、ご家族それぞれにとっての佳き時を過ごされています。参加されたご家族からは、「家族同士、助け合える部分があったら何よりだと思う」、「温かい気持ちで前向きになれました」などの感想が寄せられました。

また、会場内に、移植を受けた方々（レシピエント）からの感謝の気持ちを綴ったお便りの紹介やメッセージカードを展示しました。ご家族は長時間足を止め、熱心にご覧になっており、「元気にいてくれることが幸せ」、「受け取ってもらえたことで救われた、ありがとう」などのお言葉が寄せられました。レシピエントの元気なお姿は、ご家族にとって何よりの支えであり、励みとなっています。



〈ドナーのご家族のための集いの様子〉  
2018年度開催



## 6 普及啓発の概要

臓器提供は、本人の意思が不明な場合でも家族の承諾があれば可能です。家族とよく話し合い、自分の意思を伝えることが大切です。また、もしものときに家族が判断に迷ったり困ったりしないためにも、しっかりと意思表示しておくことも大切です。

臓器提供に関する意思表示は、健康保険証、運転免許証、マイナンバーカードに記載欄があり、その他、意思表示カードに記入したり、日本臓器移植ネットワークホームページからインターネットで意思登録することもできます。内閣府世論調査（平成29年8月）では、臓器を提供してもいい方が約42%であるにもかかわらず、意思表示している方はわずか約13%です。意思表示を促進するために、各地のタクシー協会のご支援により、グリーンリボンドライバーステッカーの貼付・走行による一般ドライバーや乗客への周知、日本薬剤師会を通じて、調剤薬局店舗等でのポスターの掲示やリーフレットの設置協力、患者さんへのお声掛けなど、様々な取り組みを続けています。

毎年10月の臓器移植普及推進月間を中心に、グリーンリボンキャンペーンを展開しています。10月16日は、家族や大切な人と「移植」のこと、「いのち」のことを話し合い、互いの臓器提供に関する意思を確認する日「グリーンリボンデー」です。この日に合わせて全国各地の約50カ所のランドマークをグリーンにライトアップし「全国GREEN LIGHT-UP Project～患者さんに希望の光を届けよう。～」を展開しました。また、10月14日のランニングフェスティバル（東京：駒沢公園）、10月19日の臓器移植推進国民大会（青森県）など、全国各地で様々なイベントが行われ、その様子は10月にリニューアルされたホームページ、キャンペーンサイトやFacebookで広く周知しています。

そして、2018年度に引き続き今年度もACジャパンの支援キャンペーンにより、テレビやラジオCM、交通広告を展開しています。実際に臓器を提供されたご家族が出演され、当時の意思表示カードを手にしながら臓器提供した際の想いを語っていただき、「意思表示の大切さ」や「家族で話し合うことの大切さ」を呼びかけています。

また、11月には教育者向けに臓器移植を題材とした「いのちの教育」セミナーを東京都で開催しました。2018年より道徳が教科化されたことを受け、そのテーマとして適した臓器移植について、子どもの頃から理解し考える授業の実践を目的としています。

今後も、家族で話し合い、意思を表示しておくことの大切さを周知し、広く社会に移植医療の理解を得ることを通じて、一人でも多くの方の命が救われる社会の実現を目指します。

- think transplant vol.38～40  
臓器移植待機者と臓器提供ご家族、臓器移植体験者の手記



- リニューアルしたホームページ



- ACジャパン支援キャンペーン  
「最後の手紙」ポスター



- GREEN LIGHT-UP  
Projectポスター



- ホームページ <https://www.jotnw.or.jp>
- グリーンリボンキャンペーンサイト <https://www.green-ribbon.jp>
- Facebook <https://www.facebook.com/GreenRibbon.jp>

# NEWS LETTER

## 寄付によるご支援をお願いいたします



臓器移植の普及啓発には、皆様からのご支援が必要です。寄付をいただいた場合は、税制上の優遇措置が受けられます。詳しくはホームページをご覧ください。



## 臓器移植やご支援に関するお問い合わせ



**0120-78-1069** (平日：9:00～17:30)

**JOT** NW  
いのち、つなぐ。

公益  
社団法人

**日本臓器移植ネットワーク**

ホームページにも  
さまざまな情報が  
掲載されています。

<https://www.jotnw.or.jp>



〒108-0022 東京都港区海岸3-26-1 バーク芝浦12階  
TEL 03-5446-8800 / FAX 03-5446-8818

臓器移植

検索